



新発見の種をまく!

新しい機能性肥料。
夏越し栽培の安定生産に最適!

亜りん酸液肥

「元気なぞうさん」

「元気なぞうさん」に配合されている亜りん酸(H₂PO₄)は、りん酸(H₃PO₄)に比べて酸素が1つ少なく、正リン酸に比べて塩の水溶解度が高く、根や葉からすばやく吸収されるので、根群の発達・花芽の充実や着果・結実の促進による増収効果および、作物の品質向上効果が期待できます。

元気なぞうさんの特長

亜りん酸はH₂PO₄で表されます。正りん酸(H₃PO₄)に比べて酸素が1つ少なく、正リン酸に比べて塩の水溶解度が高い、分子量が小さいため作物体内での移行性が高い、土壌吸着されにくい等の性質があります。「元気なぞうさん」はこの亜りん酸の効果に着目し、作物へのりん酸の吸収やその効果を高めた製剤になっています。

【主な特徴】

- ① 葉や根からの吸収が早く、りん酸の吸収効率が良い
- ② りん酸、カリウムが補給でき、生殖生長期や果実肥大期(かんきょう類は除く)に特に有効
- ③ 花芽の充実、着果の促進、果実等の品質向上が期待できる(増収効果等敬



●10リットル品



●100リットル品



■大塚アグリテクノ株式会社

取扱い

- ④ 根群の発達を期待できる(根量がアップ)→根の活着や生育状態の向上)
- ⑤ pHが中性で、取り扱いやすい

内容および使用方法

肥料保証成分として水溶性りん酸31%と水溶性加里25%から成ります(表1)。すべてが水溶性成分であるため、すばやく水に分散溶解します。所定使用濃度になるように水で希釈して葉面散布や灌漑処理します(表2)。

取り扱い上の注意点

亜りん酸肥料の施用効果は試験場や現地圃場等で確認されており、作物の生育向上や増収に寄与することがわかっています。その一方で、亜りん酸肥料は根や葉からの吸収や作物体内での移行が早く、多量に施用すると生育遅延等の生理障害が出やすいので、施用濃度および量には十分注意する必要があります。また、次のような注意点にも気を付けて使用してください。

- ① 高濃度では、生育障害が発生する場合があります。使用濃度に注意してください。
- ② かんきょう類への散布においては、果実肥大期から収穫までの使用は避けください。
- ③ 石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用しないでください。



●写真1 亜りん酸粒状肥料(10kg袋)
※亜りん酸粒状1号(0-7-5)
※亜りん酸粒状2号(0-10-7)

- ④ 保管は密栓し、直射日光を避け凍結しないような場所で保存してください。
- ⑤ 他剤との混用の場合は、混和性、生育障害等を確認の上ご使用ください。
- ⑥ 幼児等の手の届く所に置かないでください。
- ⑦ 作業後は手足・顔等を石けんで良く洗うがいをしてください。
- ⑧ 眼に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ⑨ 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ⑩ 肥料以外の用途には使用しないでください。

姉妹品の紹介

「元気なぞうさん」の姉妹品で、粒状タイプの亜りん酸肥料もあります(写真1)。土壌混和および本圃株元散布にて使用します。詳しくはお問い合わせください。

■表1 「元気なぞうさん」肥料保証成分内容

保証成分(%)		
窒素	りん酸	加里
—	31	25

■表2 「元気なぞうさん」使用方法

作物	使用時期	目的	希釈倍数(倍)	使用方法
果菜類	育苗期	健苗育成 根群の充実 花芽の充実	500~1000 1000~2000	浸漬処理 灌漑処理 葉面散布
	開花期	花芽の充実 着果促進	1000~2000	葉面散布
	果実肥大期	果実生長	1000~2000	葉面散布
葉菜類	育苗期	健苗育成 根群の充実	500~1000 1000~2000	浸漬処理 灌漑処理 葉面散布
	定植~収穫期	徒長防止 品質向上	1000~2000 500~1000	葉面散布 灌漑処理
	根菜類	定植~肥大期	収量増加 品質向上	1000~2000
果樹類	開花期	花芽の充実	1000~2000	葉面散布
	果実肥大期	着色向上 品質向上	1000~2000	葉面散布
豆類	定植~蕾期	葉数増加	1000~2000 500~1000	葉面散布 灌漑処理
穀物類	開花期、乳熟期、 糊熟期	品質向上	500~1000	葉面散布
アスパラガス	秋~冬	地下部への転流促進による 収穫増	500~1000	葉面散布 灌漑処理

